

教育のゴールと方向性をいかにして共有するか： 特別支援教育における一実践を通しての検討

平成 27 年度第 1 回人間環境科学研究所シンポジウムを開催します。

今回は特別支援学校における児童・生徒の活性化に成功した事例報告を中心に議論を深めます。

最近注目されているアクティブ・ラーニングに興味をお持ちの方々、教育の今後の方向性について
関心のある方々の参加をお待ちしています。

2015 年 8 月 31 日(月)

場所： 帝塚山大学 奈良・学園前キャンパス 16 号館 9 階 16904 教室
(近鉄奈良線「学園前」駅から徒歩 2 分)

プログラム：

15:30 受付開始

16:00 開会

- ・「ごあいさつ：シンポジウム開催の経緯」
柳 元和 氏 (帝塚山大学 人間環境科学研究所長)
- ・「コーディネータとして：特別支援教育 ×ICT をめざして」
西端 律子 氏 (畿央大学 教育学部 教授)
- ・「現場教諭として：児童・生徒の活性化は、どのように実現されたか」
高橋 浩 氏 (奈良県立奈良養護学校 教諭)
- ・「機器開発担当として：肢体不自由のある児童・生徒に 寄り添う ICT」
森石 峰一 氏 (大阪電気通信大学 人間科学研究センター 准教授)
- ・「データベース担当者として：『暗黙知から形式知へ』 日本中での共有化への野望」
太田 和志 氏 (東大阪大学 情報教育センター長 准教授)

17:10 休憩

17:20 総合討論：指定発言を予定

18:30 閉会予定

◆ 参加申込方法：

どなたでも参加できます(参加費無料)。ただし事前に参加申し込みが必要です(定員 60 名)。

氏名、所属を明記の上、下記のメールアドレスまでお申し込みください(8 月 27 日締切)。

申込先：E メール jinkanken@gmail.com 帝塚山大学 柳元和 宛 へお願いします。